

豊明市事務事業評価票（17年度事業） ソフト事業及びハード事業用				
事業名	身体・知的障害者福祉（タクシー利用助成）			
総合計画上の事業名	思いやりと自立の障害者福祉	担当課 社会福祉課		
予算事業名	心身障害児者扶助事業	担当係 障害福祉係		
事業の内容	心身障害者が外出時公共交通機関を利用することが困難でタクシーを利用する場合の経済的負担軽減を図るため、基本料金を助成する。（16年度から小型車基本料金額内で48枚/一人/年を発行する。自動車税及び軽自動車税受給者は受給できない。また、利用しやすいよう16年度より契約タクシー会社も10社に増やした。）			
事業の目的	対象者は 身体障害者手帳1・2級及び3級の一部（下肢及び体幹機能障害）の方 療育手帳A判定の方。福祉タクシー料金助成利用券を交付することによって地域の中でより暮らしやすい環境を整備し、支えあいのまちづくりの構築を図る。（今後は、精神障害者手帳の方も対象者としていきたい。）			
指標	助成利用券の年間発行枚数（国の障害者施策が地域支援を強化する方向に向かっているため、障害者の方も地域の中で暮らしていける施策の一つとして位置付ける。）			
事業実績及び目標	【実績値及び目標値】			
		実績(枚)	目標(枚)	職員数
	平成14年度	4,721	4,200	0.2
	平成15年度	5,608	5,000	0.2
	平成16年度	5,609	5,900	0.2
	平成17年度	6,737	6,200	0.2
	平成18年度		7,100	0.2
	平成19年度		7,500	0.2
	平成20年度		7,900	0.2
総合評価及び今後の対応	【達成率】 109%		成果指標の当該年度目標に対する達成度	
	【必要性】 A	必要性、有効性、効率性、市民満足度については、		
	【有効性】 A	チェック表を基に		
	【効率性】 B	A 大いにある、B 普通、C ほとんどなし		
	【市民満足度】 A	から選択		
	【総合評価（担当課）】 A	総合評価については、		
	実績のとおり利用枚数が伸びてきており、目的としている経済的負担の軽減に寄与していると思われるので、今後も必要な事業と考えられる。	A 予定どおり進める		
	【総合評価（審査会）】 B	B 見直しが必要(手法等)		
	タクシー料金助成利用券の対象拡大については、慎重に検討すること	C 見直しが必要(縮小)		
	【総合評価（最終評価）】 B	D 廃止が相当 から選択 評価理由についても記載してください		
【改革プラン】 総合評価がB、C、Dの場合記入	平成17年度から申請月により交付枚数を限定することで、適正な利用につなげてく。			
	申請月	交付枚数		
	4～6月	48枚		
	7～9月	36枚		
	10～12月	24枚		
	1～3月	12枚		
	【改革プランへの対応】（何をどのように実施したか）			
	平成17年度より、対象者を知的のB、精神の1～2級まで拡大した。また、申請月により交付枚数を制限して、適正利用につとめました。結果、拡大した対象分は1,400枚程度増えましたが、これまでの対象者分は微減となった。			